



# 水戸の空襲

水戸空襲 基礎データ

日 時 昭和20年(1945)8月2日 0時31分~2時16分

爆撃機数 B29 160機(米軍機の損害は無し)

投下爆弾量 M47焼夷爆弾(14,556発・501.9トﾝ)  
E46焼夷弾(3,175発・635.0トﾝ)  
M47高射爆弾(159発・7.9トﾝ)  
→M69焼夷弾で数えらる、市民1人あたり約2.5発、約17kg

罹災面積 4.61(全市面積の約35%)

罹災戸数 10,104戸(全市戸数の約90%)

罹災人員 50,605人(全市人口の約80%)

死者数 317人(平成6年7月調べ)

「水戸の空襲」マップ:水戸市立博物館提供

演劇手法を用いた《声》と《コミュニケーション》の体験型ワークショップ **伝わる声の作り方** 番外編

# 朗読を通して「戦争」を考える

ワークショップ 参加者募集!

2024.  
① 7/27 (土)  
② 7/28 (日)  
各回 13:30 ~ 17:00

会場 **水戸芸術館ACM劇場**

「戦争」は、遠い国の知らない誰かの出来事ではありません。太平洋戦争で水戸が空襲を受けた日(8/2)や終戦記念日を前に、戦争体験を記したテキストの朗読を通して、子どもも大人も一緒に「戦争」について考えてみませんか。発声の基礎や朗読の練習をした後、最後にACM劇場の舞台上で発表会を行います。朗読やワークショップへの参加が初めての方でも安心してご参加いただけます。

**お申込み方法**

下記宛にお電話、または館公式サイトのお申込フォームに必要事項を記載の上、お申し込みください。

TEL **水戸芸術館 ACM 劇場 ワークショップ係**

TEL: **029-227-8123** (10時~18時・月曜休館)

WEB **水戸芸術館公式ウェブサイト申込フォーム**

<https://arttowermito.or.jp/form/acm/>

1週間以上経ってもお申込受付完了の返信メールが届かない場合は、お手数ですがお電話でお問合せください。



**お申込み受付期間**

**2024.7/2(火)10:00 ~ 開催日前日 18:00**

※各回定員に達し次第受付終了とさせていただきます。

定員●各回6組(12名様) ※受付はお申込順です。 ※1回完結のワークショップです。

参加費●無料

対象●小学校3年生~大人の方  
※2名1組で行いますので、ご家族やお友達(大人同士でも可)など、ペアでご参加ください。お1人でご参加の方は当日の参加者同士でペアを組んでいただきます。

準備するもの●動きやすい服装、上履き(スリッパ不可)、飲み物(蓋が閉まるもの)、筆記用具

★発表会(16:00開始)は見学可能です。(15:50~入場可能)

朗読するテキスト:「水戸空襲戦災誌」

私たちが住む水戸市も、太平洋戦争終戦間際の昭和20年8月2日未明、アメリカ軍による大規模な空襲を受けました。本書は、水戸空襲を体験した市民180人の証言を記録。戦火を逃げ惑う人々の様子や突然の惨劇に激しく揺れ動く彼らの心情が、まさにその時を生きた証として克明に書き記されています。

講師 **塩谷亮** (劇団ACM)

しおたに・りょう●北海道出身。茨城キリスト教大学卒業後、1992年水戸芸術館専属劇団ACM入団。ACM劇場企画公演に多数出演。文学作品の朗読や地域の方々のコラボレーションなど、演劇表現の可能性を求めて活動中。主な出演作:「恋する妊婦」、「美貌の流星」、「最貧前線(宮崎駿の雑誌ノートより)」、「スーホの白い馬」、「リトルセブンの冒険」、深作組+水戸芸術館「ノラ~あるいは、人形の家~」など。

ACM劇場の舞台上で、照明と音楽を入れ、朗読します。戦争について考える良い機会になると思います。水戸市以外の方もぜひ!



主催:公益財団法人水戸市芸術振興財団  
助成:文化庁文化芸術振興費補助金  
劇場・音楽堂等活性化・ネットワーク強化事業  
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化)  
独立行政法人日本芸術文化振興会

